

令和8年8月 定例教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和8年8月21日(金) 10時00分～11時00分
開 催 場 所	半田市役所 4階 庁議室
出 席 委 員	教 育 長 榑 原 雅 晃 委 員 新 美 大 委 員 桂 優 子 委 員 正 村 日 登 美 委 員 堀 崎 隆 資
説 明 の た め 出 席 し た 職 員	教 育 部 長 森 田 知 幸 学 校 教 育 課 長 内 藤 誠 主 任 指 導 主 事 木 下 稔 章 指 導 主 事 岡 戸 秀 一 給 食 セ ン タ ー 所 長 榑 原 秀 夫 生 涯 学 習 課 長 石 島 陽 子 ス ポ ー ツ 課 長 門 田 和 博 ス ポ ー ツ 課 主 幹 河 合 信 二 図 書 館 長 藤 井 寿 芳 博 物 館 長 中 村 省 吾 新 美 南 吉 記 念 館 長 遠 山 光 嗣
事 務 局	学 校 教 育 課 総 務 担 当 主 査 石 川 修 平
議 題	■協議事項等 【共通】 (1) 令和8年9月半田市議会定例会提出議案について ①半田市教育委員会の教育委員の任命について ②半田市立学校設置条例の改正について ③令和8年度半田市一般会計補正予算等について ④令和9年度からの指定管理者の指定について (2) 後援願等について 【学校教育課】 (3) 令和8年度「幸せになるための教育『半田ハッピーウィーク』」学校公開一覧について ■配付資料 ・講座「図書館で学ぶお金のキホン」について ・館蔵品展「桐塑人形之美 新美記代子作品展」について

＜ 議事録 ＞

1. 前回の会議 録の承認	(事務局) 7月定例会の会議録について概要説明 → 一部修正し、承認
2. 教育長報告	(教育長) まず、この1か月間を振り返りますと、7月28日に熊本地震が発生し、8月13日には千葉で豪雨が発生するなど、大変大きな災害が起こり、多くの方々が被災されました。中には亡くなられた方々もおみえになります。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復旧を願っています。

私たちに直接できることは限られているかもしれませんが、当たり前
前の日常を過ごせることに改めて感謝すると同時に、被災された方々
のためにも、今、自分がやるべきこと、ここでの任務を今まで以上に
頑張っ
て取り組むこと、そうした日々を目指して努力することが大切
だと改めて思っています。

それでは、報告に移ります。

7月25日に『わくなるの森』のオープニングセレモニーに出席しま
した。委員の皆さんの中にも顔を出していただいた方がおみえになり
ました。式典が行われ、その後に祭囃子の演奏、子ども食堂の出店、
抽選会、お菓子撒きなどもあり、地域の方々が大変大勢集まっていま
した。その後、夏休み期間中は、毎日多くの小学生が訪れていたと聞
いています。成岩小学校の校長先生は、小学生が占領してしまわない
かと心配されていましたが、9月以降、地域の方々の利用とともに定
着し、落ち着くまでには、まだ時間がかかるかもしれません。今後も
『わくなるの森』の状況に注目していきたいと思います。

7月30日は、新美南吉の113回目の誕生日でした。また、8月1日
土曜日には、例年どおり『正八ちゃんの宵祭り』が行われました。昨年
はこの日が衣浦みなとまつり花火大会、今年は半田運河のキャナルナ
イトと日程が重なっていました。来年度以降の日程については、でき
るだけ他の行事と重ならないよう配慮できればよいと感じました。岩
滑の地元の方々には、本当に協力的に、一生懸命参加していただきま
した。感謝したいと思います。

それから、8月18日に市教育委員会主催の教育講演会を開催しま
した。福井県・石川県でスクールカウンセラーを務める^{やぶしたゆう}敷下遊先生を
お招きしました。会場の都合により、アイプラザ半田と市役所に分散し
て実施する変則的な方法となりました。心配はしていましたが、機材
の都合により市役所会場に音声が届かなかったという不手際
があり、申し訳なく思っています。講師の許可も得て、録音したものを
後で聞き直すことができるように配慮することとしています。肝心の
講演内容は、幼稚園から小学校、中学校まで、学校現場にとって大変
有意義な内容であり、二学期以降の学校運営に生かしていただける
ものと確信しています。

個別の報告は以上ですが、夏休みも終盤に差しかかっています。二
学期に向け、子どもたちの登校が気になるところです。今週は多くの
学校で登校日が設定されており、それを終えた現在、特に問題となる
ような報告は聞いていません。二学期以降も、当たり前のことが当
たり前に実行できるよう、市教育委員会を挙げて学校を支えていき
たいと思いますので、委員の皆さんもご協力をお願いします。

■協議事項等 1) 令和8年9月半田市議会定例会提出議案について ①半田市教育委員会の教育委員の任命について	(学校教育課長) 半田市教育委員会の教育委員の任命について説明します。 教育委員は、市長が議会の同意を得て任命することとなっています。本年9月30日をもって、2名の委員が任期満了となります。
②半田市立学校設置条例の改正について	(学校教育課長) 来年の令和9年4月に、半田市立協和保育園と半田市立成岩幼稚園を統合して成岩こども園を開園することに伴い、必要となる条例の一部改正を行うものです。 改正理由は、成岩こども園の開園に伴い、半田市立学校設置条例から成岩幼稚園に関する部分を削除するため、施行期日は令和9年4月1日です。
③令和8年度半田市一般会計補正予算等について	(学校教育課長) 学校教育課の歳入です。歳入、19款寄附金のうち学校保健体育費寄附金です。これは、企業版ふるさと納税として、学校用備品の充実を目的に10万円の寄附をいただいたものです。教育基金寄附金は、市内在住の個人の方から20万円の寄附をいただいたものです。 続いて、学校教育課の歳出です。歳出、9款6項1目学校保健体育費の学校環境衛生管理事業については、先ほど説明した企業版ふるさと納税の寄附金10万円で、教室等の環境検査を行うデジタル式CO2モニター2機を購入するものです。また、歳出、2款1項5目財産管理費の基金積立金については、先ほど説明した個人の方からの寄附金20万円を、いったん教育基金に積み立てるものです。 続いて、債務負担行為の補正です。中東情勢によるナフサ価格の高騰に伴い、亀崎小学校新体育館建設に係る小学校改築等工事と外構工事等実施設計委託は、期間の変更はなく、金額のみ増額変更します。一方、工事監理委託については、もともと令和8年度・9年度の2か年度で、新体育館建設工事の監理を行うものでしたが、これとは別に、令和10年度に別途実施する予定であった旧体育館の解体工事についても一体的に監理することとしたため、令和10年度分を前倒しし、期間変更と金額の増額変更を行います。 (スポーツ課長) 補正の主な事業内容は、新総合体育館の建設に向け、建設予定地内にある古窯跡1基の発掘調査と、予定地の試掘調査を行うものです。新総合体育館の建設予定地は、半田びよログスポーツパーク内の現在の陸上競技場の北側で、バスロータリーと第2駐車場にまたがる場所です。その予定地周辺は埋蔵文化財を含む可能性があります。運動公園の開設前である平成7年・8年頃に一度調査を行っていました。当初は、工事開始後に文化財が出土した場合に調査を行うこととし、工事の延長も1か月程度と想定していた

ため、令和8年度予算には埋蔵文化財調査費用を計上していませんでした。しかし、その後、詳細な調査を進める中で、平成7年・8年頃の調査で未完了となっている古窯跡があること、また、その古窯跡の一部が建設予定地にかかることが分かりました。県の文化財担当と協議したところ、文化財保護法に基づき、古窯跡の上に建物が来る場合は、記録保存のための本格的な調査が必要であり、併せて、予定地内に他にないかどうか、試掘調査も行うよう指示を受けました。この調査を実施しない選択をした場合は、体育館を建てるための建設レイアウトに著しい制限がかかります。また、工事の中断や供用開始の遅れにつながり、建設コストの増加も予測されます。そのため、今回、補正予算を計上し、本調査及び試掘調査を実施したいものです。

(図書館長)

図書館の歳入は、図書館事業にと110万円の寄附を受けたものです。歳出は、この寄附金を主な財源として125万7千円を計上し、館内に植栽型スピーカー等の音響機器を設置して、静音エリアと会話可能エリアを分ける音環境ゾーニングを実施するとともに、可動式の配架用ボックスを設置し、誰もが利用しやすい環境を目指して整備するものです。

音環境整備は、本年2月から3月にかけて関係事業者等と共同で実証実験に取り組み、成果が得られたことから事業化するものです。実証実験の成果を含めた事業、配下用ボックスの詳細については資料をご覧ください。また、資料には、図書館の環境に関する職員の思いを込めた図書館長のコメントを記載していますので、ご一読いただければ幸いです。図書館の説明をもちまして、令和8年度半田市一般会計補正予算等の説明を終わります。

(新美委員)

亀崎小学校体育館についてですが、旧体育館を壊してから新体育館を建設するという意味で説明されたのでしょうか。

(学校教育課長)

建設自体は、新体育館を建設した後に、隣の旧体育館を解体します。ただし、この二つの工事の工事監理を一体的に行いたいというものです。

(新美委員)

工事監理の話ということですね。体育館がなくなる時期はないということですね。

(学校教育課長)

ありません。

(教育長)

CO2 モニターを購入するに至った経緯を再度確認させてください。

	(学校教育課長) 各教室の二酸化炭素濃度の測定は、法定検査として従来から学校薬剤師が行っています。これまでは、二酸化炭素検知管という酸化カリウム等が入ったガラス管を用いて、CO₂と反応させて教室内の濃度を測っていました。しかし、このガラス管は一度使用すると終わる使い捨てのもので、使い勝手があまりよくありませんでした。一方でポケットCO₂モニターというデジタル式のものであれば、繰り返し使用できて便利であると学校薬剤師からも助言をいただいております。今回、寄附金をいただいたため、購入することとしたものです。
④令和9年度からの指定管理者の指定について	(スポーツ課長) 令和9年度からの半田福祉ふれあいプール、青山記念武道館、半田空の科学館・半田市体育館、半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスの指定管理者について、7月28日及び29日に開催された半田市指定管理者選定委員会で、指定管理者の候補が決まりましたので報告します。なお、本件は、半田市議会9月定例会で議案として上程する予定です。 半田福祉ふれあいプールの指定管理者候補は、株式会社スポーツプラザ報徳。青山記念武道館は、三幸株式会社。半田空の科学館・半田市体育館は、アクティオ株式会社。半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスは、特定非営利活動法人ソシオ成岩スポーツクラブで、いずれも現在の指定管理者と同じです。 (正村委員) 公募で実施して、応募者が2社以上ある場合の審査において、結果として指定管理者は変わっていませんが、どのような点に差があったのでしょうか。明らかに大きく違う点があったということでしょうか。 (スポーツ課長) 点数が極端に大きく開いているという感じではなかったと思います。私も選定委員会を傍聴しましたが、見た印象では、現在指定管理を行っている事業者の方が、プレゼンテーションの内容が充実しているように感じました。 (正村委員) 新たに参入する事業者にとっては、なかなか難しい面があるのでしょうか。よほど優れた提案がないと難しいのか。指定管理者が変わっていく事例があるのかと思い、質問しました。 (教育部長) 少し補足します。審査会には、市民の方から選ばれた審査員がおみえになり、私たちも審査員として入っています。審査では、経営基本理念、運営方針、運営体制、事業計画、収支予算、その他といった細かな評価項目があり、それぞれの審査員が点数を付けます。その合計点等を比較して、最終的

	に決定しますので、感覚的なものではなく、客観的な審査に基づいて決定しています。
2) 後援願等について	(学校教育課長) 後援名義使用許可 15件
3) 令和8年度「幸せになるための教育『半田ハッピーウィーク』」学校公開一覧について	(主任指導主事) 令和8年度 幸せになるための教育「半田ハッピーウィーク」学校公開についてです。日程は、基本的にハッピーウィークとして設定している10月1日から7日までの期間ですが、学校行事の都合により多少前後していることはご了承ください。それぞれの学校で授業公開等が行われます。委員の皆様におかれましては、ご都合がよろしければ参観していただけると幸いです。教育委員の皆様が参観される場合は、学校へ直接連絡せずに伺っていただいてよい旨を学校に案内していますので、よろしくお願いします。 ならわ学園分校については、例年のことですが、児童生徒への配慮から、一般の保護者や外部の方には、小学校・中学校とも非公開で授業を行いますので、ご理解ください。 (新美委員) 有脇小学校の取り組み内容が『かいどり大作戦』となっています。『かいどり大作戦』は、ハッピーウィークを取り入れる前から、ずっと行っているものです。それをあえて今回、『幸せになるための教育』として位置付けたことに、どのような趣旨があり、どのように結び付けているのか疑問に思いました。 (主任指導主事) 各学校に対して、『この理由でこの取組を出してください』と指定して提出してもらっているわけではありません。学校と話す中では、保護者が参加し、保護者と児童が一緒になって活動する場であることから、そのような意味合いのものとして挙げたと聞いています。ずっと行っている行事ですので、変更することが難しい部分もあると思います。 一方で、それぞれの学校では、各担任が児童生徒に対して何らかの働きかけを行うこともハッピーウィークの趣旨としています。その点について、改めて機会を設け、取組の趣旨をこちらからも伝えていきたいと思います。 (教育長) 毎年恒例の行事を充てている学校もあるということですね。 (主任指導主事) 亀崎中学校は、今年は授業参観と周年記念の取組を行うとありますが、例年は、先輩の話を書く機会など、生涯を見通したキャリア教育の一環となる内容を関連付けて記載していたこともありましたが。全体の行事名だけが記載されると、各担任の授業が見えにくくなる可能性があります。趣旨としては、先生方が工夫し、『幸せになるための教育』につながる授業を行うよう

	呼びかけていますので、その趣旨を今後も説明していきたいと思います。 (教育長) 例えば、子どもたちにそういう呼びかけを行って実施しているという説明があれば分かります。自分の幸せ、他人の幸せ、友達の幸せと、『かいどり大作戦』がどのように結び付くのか、学校から説明してほしいと思います。例えば進路学習で先輩の話を聞く会であれば、幸せとのつながりは理解しやすいと思います。取組自体を変える必要はありませんが、学校がどのような考えで位置付けているのかを聞いてもよいのではないかと思います。 (桂委員) 今の話につながりますが、例年どおりではなく、『今年は何か違うことを行っている』と感じる学校があれば教えてください。 (主任指導主事) 実際には、どの学校も基本的に授業参観や公開授業を行うものです。個々の授業内容まで一覧に記載できるわけではありませんが、校内の現職教育や教育研究と関連付け、子どもが『できた』『分かった』と実感できることなど、一般的な授業公開にとどまらない趣旨を盛り込んで記載している学校もあります。 時間帯を分けたことなどの変更はありますが、内容欄は、『幸せをテーマにした授業公開を行う』『道徳を行う』といった記載が中心となります。そのため、一覧から今年度の新たな取組を読み取ることは難しいです。 (教育長) 授業公開という名称は同じでも、中身は毎年違います。その内容について、各学校が工夫し、進歩が見られることを期待したいと思います。
■配付資料	(事務局) 本日の配布資料として、講座「図書館で学ぶお金のキホン」について、をはじめ2点の各種イベント、チラシ等について、所管課から案内がありました。各委員のお手元に配付していますので、ご確認ください。 ・講座「図書館で学ぶお金のキホン」について ・館蔵品展「桐塑人形の美 新美記代子作品展」について (教育長) 館蔵品展「桐塑人形の美 新美記代子作品展」について、人形は何体ぐらい展示されるのですか。 (博物館長) 博物館では、新美記代子氏より40体の作品の寄贈を受けています。このうち、保存状態を確認したうえで、展示に適した作品を選定して展示します。

	(教育長) 大きさはどのくらいですか。 (博物館長) 少し大きいものから小さいものまであります。もともと桐の木の太鋸屑を糊と混ぜて粘土状にして人形の芯に付け、乾かした後に削るなどして作る人形です。そのため、それほど大きなものはありません。 なお、新美記代子氏は、半田の山車彫刻で有名な彫常(新美常次郎)の子孫(娘)です。来年は彫常の生誕150年であり、はんだ山車まつりもありますので、その前段として本年は、桐塑人形作家である新美氏の美しい工芸作品に触れていただきたいと考えています。 (教育長) バードカービングの作品数には圧倒されました。 (博物館長) おかげさまで、来場者は3万人に届く勢いです。8月末まで開催していますので、ぜひご覧ください。来場者にお渡ししているポストカードも、まだ残っています。企画展示期間の来場者の過去最高は約3万2,000人ですので、それを超える可能性があります。 (桂委員) 他の展示会と比べ、これほど多くの方が来場いただけた理由は何だと思えますか。 (博物館長) 精巧な木彫りの作品であることに加え、あれだけ多くの鳥の種類を一度に見られることや、大人にも子どもも見ても楽しめる展示であるということが、魅力になっていると思います。 剥製に近い再限度で、クイズラリーの問題としても出題していますが、剥製と木彫りで見分けがつかないほどです。見るだけでも楽しめるため、複数回来場される方もおみえになります。
■児童生徒の交通事故・問題行動等について	(主任指導主事) 令和8年7月11日から8月9日までの交通事故、問題行動、交通事故以外の事故、不審者情報等について。 交通事故:1件 問題行動(被害)等:0件 交通事故以外の事故:1件 学校等被害等:0件 不審者情報:0件

■教育委員からの提言等
①教職員研修の共有・アーカイブ化について

(正村委員)

この夏休みに入ってから、教育委員会から7月27日、8月5日、18日と研修会をご案内いただき、参加させていただきました。大変勉強になりました。ありがとうございます。

その際に思ったこととして、8月18日の教育講演会には多くの先生方が参加され、サテライト会場も設けられていました。一方、7月27日の包括的性教育の研修では、席次表を拝見すると、学校から参加している先生がいる一方、学校として誰も参加していないところもあったように思います。生徒指導総合連携研修会の講演も、とても勉強になるお話でした。先生方はお忙しいと思いますが、内容を何らかの形で共有できるとよいと思いました。研修を記録として残し、いつでも空いている時間に見ることができるようにすることや、どなたかが参加して、その内容を校内で共有することはできないでしょうか。包括的性教育は人権にもつながると大きく取り上げられていました。そうした内容を先生方が共有できる方法を検討していただきたいと思い、提言しました。

(学校教育課長)

包括的性教育の研修は、私も参加して大変興味深い内容でした。研修内容をアーカイブとして動画にすることは、研修によって、できるものとできないものがありますが、可能なものについては、今後取り組んでみたいと思います。研修会への参加自体については、もう少し呼びかけを行いたいと思います。

(正村委員)

大会議室がもっといっぱいになってもよかったと思います。中学校の先生の参加が少なく、見たところ3名ほどだったように思います。どのように参加者が選ばれているかは分かりませんが、幼稚園や保育園の先生方はグループで参加している印象でした。こうした研修があることを知っていただくだけでも随分変わると思います。また、幼稚園・保育園の幼児期から中学校まで学びがつながっているという意識も持っていただけるのではないかと思います。

(新美委員)

私も仕事の中で、以前は様々な会が録画禁止でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、大きく変わりました。研修を主催した場合は全て録画して、会員であればいつでもホームページで見られる形式になっています。その日に参加できなかった場合や、今は直接関係のない部署にいても、例えば3年前に行われた研修を見てみようと思ったときでもアクセスできます。今後は、このような方式を取り入れ、教員だけが見られるようにすることも可能だと思います。良い研修をそれぞれ実施していますので、講師の先生に許可を得た上で、内容を蓄積する方法が必要だと思います。

(学校教育課長)

研修単位で視聴しやすい環境を整えることは大切だと考えます。今回の

	研修は実施主体がそれぞれ異なるため、一体的に進めることはハードルが高いですが、検討します。 (正村委員) 包括的性教育の研修の講師は、森重智氏と、榊原^{えま}衣麻氏という学校教員を務められた方で、半田市在住の方でした。ご本人が LGBTQ 当事者でもありました。案内では、『男女共同参画社会推進のための教職員・保育士向け研修』と明記されていました。 (教育長) 校長会を通じて、各学校から1人は参加するよう呼びかけていなかったでしょうか。また、担当課に連絡し、実際の参加状況を確認してください。どの程度の参加状況であったのか、また、どのように共有するかは検討した方がよいと思います。オンデマンド方式で、その日に都合がつかなくても、都合のよいときに見られるようにすることは有効だと思います。
②夏休み中の登校日について	(堀崎委員) 登校日の件について、8月18日の研修会に参加した際、午前中が登校日だったため、帰る子どもたちの姿を見ました。元気そうな様子も見ることができました。先生方と話していると、最初は先生方にも登校日について『大変だな』という気持ちがあったようですが、中学校でも子どもたちと楽しい学級活動やゲームを行い、やっぱりやってよかったという感想を聞くことができました。作品募集のために登校するというのではなく、9月からまた学校に行き、二学期を頑張ろうという気持ちをつくるという意味があると思いました。特によかったのは、不登校傾向の生徒も登校日に来て先生と話ことができ、9月からも順調に登校できそうだと分かったことです。登校日にも来ず、何をしているか分からない状況のまま9月1日を迎えさせたくないと思いましたが、改めて思いましたので、報告します。 (桂委員) 登校日のことで、私も保護者の方々と話した際、いろいろな意見がありました。『学校へ行っても、ほとんど何もしないで帰ってくるだけなので、意味があるのか』という方もいました。一方で、『家でずっとだらだらしてしまうので、そろそろ気合いを入れるためにも、登校日があった方がよい』という方もいました。学校へ行き、みんなと会って、ゲームをするなど楽しい思いをし、『行ってよかった』と思える登校日になれば、9月からの新学期を楽しみに迎えられないのではないかと、その保護者の方と話しました。必ず登校日を設けなければならないということではありませんが、設けるのであれば、意義あるものになるとよいと思います。

次回開催等	(事務局) 9月定例教育委員会 日時:9月16日(水)10時00分～ 場所:半田市役所4階 庁議室 (教育長) 8月定例教育委員会を終了する。
-------	---

〈 閉会 11時00分 〉